

プトン効果が無視できないことを示唆している。

## 6. あとがき

以上述べてきたように、銀河系の内側部分の構造は多様で変化に富んだものである。銀河系の大局構造の研究は、系外銀河の方がかえってやりやすい面もあるが、星間吸収に妨げられるとは言え、我々の銀河系の距離の近いという強味は捨てがたい。典型的な渦状銀河の一例として、その構造を細かく、詳しく探れるという魅力がある。特に赤外域での観測は、透過性の良さを生かして、銀河系全域にわたる恒星分布、塵分布の研究には欠かせない手段である。ここで述べた近赤外銀河光の研究をさらに発展させて、名古屋大学では、南天の観測をするため

オーストラリアに遠征した。我々のところでは、Dust成分を直接検出するために、その熱輻射である遠赤外線強度分布の観測を試みている。また、地上グループは上松の赤外線望遠鏡を使って、銀河面の微光赤外線源の掃天観測を計画している。これによって、銀河系の奥深くの恒星分布、特に原始星の天体や、超巨星のような大光度の天体であれば、5 kpc リングや銀河中心付近まで観測領域が拡大出来るものと期待している。また、こうして見出された遠距離天体の偏光観測から、銀河磁場の構造を明らかにしたいと考えている。

電波、X線、 $\gamma$ 線などの観測から得られるであろう豊富な情報と合せて、我々の銀河系の総合的なパノラマ構造が描き出される日もそれほど遠くはないであろう。

## 掲 示 板

### 東レ科学技術賞および研究助成候補者募集

上記について東レ科学振興会より本会あて推薦依頼が来ています。希望者は**10月30日**までに、学会庶務理事まで御連絡下さい。募集の要項はつぎのとおりです。

科学技術賞……(1) 学術上の業績が顕著なもの (2) 学術上重要な発見をしたもの (3) 重要な発明をしてそ

の効果が大きいもの (4) 技術上重要な問題を解決して技術界への貢献が大きいもの、に対し金メダルと副賞250万円。

研究助成……科学技術の基礎的な研究に従事し、その研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる研究を行なっている研究者、またはそのグループに対し1,000万円程度。

贈呈期日は両方とも昭和54年3月の予定。

わが国唯一の天体観測雑誌

# 天文ガイド

定価280円(千45円) 78-10月号・9月5日発売!

### ●10月号のおもな内容

- ★10月2日(月曜日)は日食です。部分日食ですが、欠けたまま太陽が沈みますから、風景写真をとるには良いチャンス。観測ガイドは白河天体観測所です。
- ★太陽についての話題をもう一つ。最近コロナホールが注目されています。これはいったい何でしょう。
- ★この春開かれたマーマデン、クレーサー博士の天文アマチュア向け講演の連載が始まっています。今月は、クレーサー博士のお話です。
- ★木星がそろそろ観測シーズンに入ってきましたが、木星面の縞模様と衛星をいっしょに写してみようという私の天体写真術、船田さんのテストなどを紹介です。

カラー版  
藤井旭の

# 天体望遠鏡 ABC教室

いざ天体望遠鏡を買おうとしても、どんな望遠鏡を選んだらよいか、誰でも迷うものです。また、買ってから能力を生かしきれない人も、意外と少なくありません。本書は天体望遠鏡の選び方のポイント、構造と使い方、各天体ごとの見方、自分で工作する場合どうしたらよいか、調整や手入れの仕方などをカラー写真とイラストでくわしく解説しました。

付録に、これから10年間の木星、土星、宵の明星の見え方、星雲・星団、二重星の星図があります。

●藤井旭著/B5変型判・88ページ・1600円・発売中

誠文堂新光社

東京都千代田区神田錦町1-5  
振替東京7-6294 電話03(292)1211